

平成28年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本学園で学ぶ生徒が、より良い人間関係と充実した教育環境のもとで、その人格・個性が尊重され、学習や行事・活動を通して確かな学力と社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、やがて社会の中で活躍し未来を切り拓いていく力を培う教育を実践する。

- 〔1〕 個性を伸ばし自らの成長に向けて努力する人を育てる。
- 〔2〕 自主的に何事にも積極的に取り組む人を育てる。
- 〔3〕 実践を通して知識・技能を一層深く学ぶ人を育てる。
- 〔4〕 礼儀を身につけより良い人間関係を築こうとする心豊かな人を育てる。

2 中期的目標

【1】建学の精神と教育理念にもとづく学校経営計画及び教育計画を策定し実践する。

- (1) あらゆる教育計画・活動に本校の教育理念・方針の一層の浸透を図る。
ア 学年・校務分掌等の教育計画を改善し、理念・方針を浸透させる。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.2とする。
- (2) 教育計画の実践に向け教職員の資質向上を図り学校運営体制を改善・整備する。
ア 教職員の資質・能力の向上を図るために研修内容の充実を図る。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
イ 組織の連携及び会議の機能を強化し、課題に対してチームで対応する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
- (3) 総合学園としての教育環境を有効に活用した学内連携教育を実施する。
ア 総合学園としての教育環境を活用し、高大・高短等の連携教育を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。

【2】18歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤を養成する。

- (1) 学習指導において、主体的・協働的な学びを実践する。
ア 基礎的知識の習得及び思考力・判断力・表現力の養成のために授業改善を行う。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
イ 対話力や課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う。 ※平成30年度教職員自己評価点を3.8とする。
- (2) 生徒指導において、集団・社会に貢献できる態度・実行力を身につける。
ア すべての教育活動を通して規律ある生活態度や礼儀・マナーを身につける。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
イ 活動・行事等を通して協調性・責任感・行動力などの社会性を身につける。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
- (3) 部活動を通して自らの心身を鍛え社会性を獲得する。
ア 技能を磨き目標に向けて努力し続ける中で心身を鍛える。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.3とする。
イ 仲間と共に目標の実現に向けて活動する中で社会性を身につける。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.1とする。
- (4) あらゆる教育活動において、良き市民、社会形成者としての態度・能力の基盤を養う。
ア 民主主義社会を担う主権者としての自覚を促す教育を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を3.8とする。
イ 将来の社会を担う健全な市民となれるよう市民性を育む教育を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を3.8とする。
- (5) 国際交流を推進し多様な文化を理解し共生できる国際的資質を育む。
ア 短期・長期の留学派遣及び海外から研修生・留学生の受入れを実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
イ 英語科およびあらゆる教育活動を通して国際理解教育を推進する。 ※平成30年度教職員自己評価点を3.8とする。

【3】人としての在り方生き方を考え、他者と共により良く生きていくための人権意識を養う。

- (1) 自己及び他者を尊重し共により良く生きようとする態度を養う。
ア 人権学習を実施し人権問題への理解と解決に向けた態度を身につける。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
イ 学級生活や活動を通して仲間と共に調和して生活しようとする態度を養う。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
- (2) 生徒が抱えている課題に対して、そのニーズに応じたきめ細かい相談・支援を行う。
ア 学習・生活・心身等の課題を抱える生徒に丁寧に対応し支援を行う。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.2とする。
イ 生徒のニーズを把握し、教職員が連携して適切な特別支援教育を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。

【4】進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養うキャリア教育を実施する。

- (1) 自分を見つめ、未来に目標を持ち、それを実現させるための能力を養う。
ア 自分の興味・関心を知り進路目標を考える学習を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.2とする。
イ 上級学校や職業に対する関心・意欲を高める体験的学習を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。
- (2) 生徒の希望・目標を実現させることができるよう進路相談・支援を行う。
ア 進路選択に必要な情報を提供し、目標設定や実現に向けた相談・助言を行う。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.2とする。
イ 放課後や長期休業期間を含む進路指導体制を整備し講習等を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.2とする。

【5】安心・安全な社会を築くための態度と行動力を養う。

- (1) 防災・減災に向けた防災教育・訓練を実施する。
ア 防災・減災に向けた行動が取れるよう状況に応じた訓練を実施する。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.2とする。
イ 自然災害に対する科学的理解を深め、防災意識を高める。 ※平成30年度教職員自己評価点を4.0とする。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育活動全般及び学校に対する全体的評価を行った。 評価方法：各項目について、5段階評価で行った。 5：その通りである 4：どちらかといえばその通りである 3：どちらともいえない 2：どちらかといえば違う 1：まったく違う</p> <p>[学校経営計画及び教育計画] [高校生の学力及び態度・諸能力の基盤養成] [他者とともにより良く生きていくための人権感覚] [未来を切り拓くキャリア教育・進路指導] [安心・安全な社会を築くための態度と行動力]</p>	<p><学校評価委員会を開催> H 年 月 日</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	
<p>【1】経営計画及び教育計画 教育理念に基づく学校</p>	<p>(1) 理念・方針にもとづく教育計画の再構築 (2) 教職員の資質向上と学校運営体制を改善・整備</p>	<p>(1) ア学年・校務分掌等の教育活動計画を改善（学年会議・分掌会議で策定） (2) ア教職員研修の充実化を図る（教務部を中心に企画。年2回実施）</p>	<p>(1) ア平成28年度教職員自己評価点を4.0とする。 ＊学年会議・分掌会議で協議・見直し・改善計画策定 (2) ア平成28年度教職員自己評価点を3.8とする。 ＊教務部を中心に研修を年2回実施。日々の小さな研鑽を積み重ねる。</p>	
<p>【2】18歳の高校生に求められる学力及び態度・諸能力の基盤養成</p>	<p>(1) 主体的・能動的な学びの実践 (2) 集団・社会に貢献できる態度・実行力を養う (3) 部活動を通じた社会性の獲得 (4) 市民性を育む教育 (5) 国際的資質を育む教育</p>	<p>(1) ア①基本的な知識・技能の習得のための授業改善を行う（教務部・教科会議を中心に改善） ②思考力・判断力・表現力の養成のための授業改善を行う（教務部・教科会議を中心に改善） イ対話力・課題発見・解決力等を養うための主体的・協働的な授業を行う（教務部・教科会議を中心に改善） (2) ア基本的な生活態度を改善する（生徒指導部・学年の連携で指導） イ活動・行事等を通して社会性を身につける（生徒指導部・学年の連携で指導） (3) ア自らの心身を鍛える（生徒指導部・部活動顧問で指導） イ部活動を通して社会性を身につける (4) ア市民性・主権者意識を育む教育を実施する（教務部・地歴公民科・生徒指導部等で指導） (5) ア研修・留学生の派遣、受入れを実施する。（国際教育部・英語科で実施）</p>	<p>(1) ア①平成28年度生徒評価点を3.7、教職員評価点を4.0とする。 ②平成28年度教職員評価点を3.7とする。 イ平成28年度教職員自己評価点を3.7とする。 ＊教科担当者の実践と報告により更なる授業改善を図る (2) ア平成28年度生徒評価点を3.6、教職員評価点を4.0とする。 イ平成28年度生徒評価点を3.8、教職員評価点を4.0とする。 ＊生徒指導部・学年の中間報告と課題の更なる指導強化 (3) ア平成28年度教職員自己評価点を4.2とする。 イ平成28年度教職員自己評価点を4.2とする。 ＊部活動を通じた生徒の育成を生徒指導部・部活動顧問を中心に指導 (4) ア平成28年度生徒評価を3.2、教職員自己評価点を3.6とする。 ＊18歳選挙権を契機に市民・主権者意識の向上と責任ある態度を養う (5) ア平成28年度教職員自己評価点を4.0とする。</p>	

<p>【3】 人としての在り方生き方を考え、他者と共に より良く生きていくための人権感覚を養う</p>	<p>(1) 自己・他者が共により 良く生きようとする態 度（人権教育部・生徒 指導部・学年で指導）</p> <p>(2) 一人ひとりのニーズに 応じた指導</p>	<p>(1) ア人権問題への適切な理解と態度 を身につける学習を実施する イ学級生活や活動を通し仲間と共 に調和して生活しようとする態 度を養う</p> <p>(2) ア様々な課題を抱える生徒一人ひ とりに丁寧に対応し支援を行う （学年・学級及び関係部署の連携 で支援） イ生徒のニーズを把握し教職員が 連携して特別支援教育を実施す る（特別支援教育委員会を中心 に支援）</p>	<p>(1) ア平成 28 年度生徒評価点を 3.8、教職員評価点 を 4.0 とする。 *学年別にテーマを設定し年間 3 回実施 イ平成 28 年度生徒評価点を 3.8、教職員評価点 を 4.0 とする。</p> <p>(2) ア平成 28 年度生徒評価点を 3.5、教職員評価点 を 4.0 とする。 イ平成 28 年度教職員自己評価点を 3.8 とする。 *学年・学級・特別支援教育委員会及び関係部 署の連携で支援</p>	
<p>【4】 進路目標の実現に向けて未来を切り拓く力を養う キャリア教育を実施する</p>	<p>(1) 未来の目標を実現する 能力を養う</p> <p>(2) 生徒の目標を実現させ る進路相談や進路支援</p>	<p>(1) ア自分の興味・関心を知り進路目 標を考える学習を行う（進路指 導部・キャリア教育委員会を中 心に指導） イ職業に対する関心・意欲を高め る体験的学習を実施する（進路 指導部・キャリア教育委員会を 中心に指導）</p> <p>(2) ア進路情報を提供し、相談・助言 を行う（進路指導部・学年・学 級で指導） イ放課後・休業中の講習を実施し、 進路指導体制を整備する（進路 指導部を中心に指導）</p>	<p>(1) ア平成 28 年度生徒評価点を 3.8、教職員評価点 を 4.0 とする。 イ平成 28 年度生徒評価点を 3.8、教職員評価点 を 4.0 とする。 *進路指導部・キャリア教育委員会を中心に学 年別に年間 3 回以上実施 *キャリア学習を総合学習の時間で学年別に系 統的・発展的に実施</p> <p>(2) ア平成 28 年度生徒評価点を 3.7、教職員評価点 を 4.2 とする。 イ平成 28 年度教職員評価点を 4.0 とする。 *進学講習を夏期・冬期・春期に実施、就職ガ イダンスを 3 年で 10 回実施</p>	
<p>【5】 築くための態度と行動力 安心・安全な社会を</p>	<p>(1) 防災・減災に向けた防 災教育・訓練を実施</p>	<p>(1) ア防災・減災に向けた訓練を実施 する（生徒指導部・防災教育委 員会を中心に指導） イ自然災害に対する科学的理解を 深め、防災意識を高める</p>	<p>(1) ア平成 28 年度教職員評価点 4.0 とする。 *防災教育委員会を中心に状況に応じた訓練を 年 2 回実施 イ平成 28 年度生徒評価点を 3.7、教職員評価点 を 4.0 とする。</p>	